



'99秋の美濃焼新作展示会 (記事・4頁)



岐阜県
中小企業団体中央会
岐阜市藪田南5丁目14番53号
岐阜県民ふれあい会館 12階
毎月15日発行
購読料 年間1,500円(1部125円)
発行人 森本安彦
事務局直通電話
管理調整チ-A 058-277-1100(代)
広報振興チ-A 058-277-1101
組織指導チ-A 058-277-1102
調査労働チ-A 058-277-1103
情報企画チ-A 058-277-1104
事務局FAX番号 058-273-3930

主な記事

- 平成十二年度の中・高校生の雇用の情勢について 2
- 海外駐在員レポート「高架下のギャラリー」 3
- 組合等の動き 家具・飛騨木工・美濃焼新作・茶碗まつり) 4・5
- 八月の景況調査 6
- 事務局だより(各種説明会の案内等) 7



時の課題

今年、中小企業等協同組
合法の制定から五十年、中小
企業基本法が制定されてから
三十六年が経過した。
この間、わが国を取り巻く経
済的・社会的環境は大きな変化を
遂げ、中小企業の事業活動にも大きな変化が見られる。
マクロな経済環境の変化の中で、大企業と中小企業との
間に依然として格差はあるものの、総じて全体の所得水準
の向上に伴い、格差の実体の意味も
変容している。

一方、経済の成熟化とともに経
済の成長率は低下し、ゼロ成長に
近い数値を示している。設備投資
や社会資本整備が経済成長を
引張り、経済から研究開発や
経営の革新等による付加価値の増加、資本の効率性や労働
の質の向上等がより重要な経済へと移行している。

他方、豊かな社会の実現で、鼻的な充足感から多様性と
個性を重んじて、消費スタイルの移行が進んできた。
また、産業構造も大きく変化し、第一次産業が縮小
し、第二次産業も成熟化が見られる中で、第三次産業特
にサービス業が生産・雇用の両面で大きなウェイトを占
めている。

さらに、情報化の進展、輸送手段の発達により、グローバ

二十一世紀を展望した

中央会の新たな方向

業団体中央会が担うべき役割は
従来、組織化政策に加え、中小企
業の経営革新、創業、新規事業創出
支援活動への重点化、「緩やかな連
携」など多角的連携支援の抜本的強化、組織全般の指
導・支援の拡大、地域・ネットフォーム等における役割の
積極的な発揮、高度化診断等の診断事業への取り組みの
強化、組合監督指導事業への取り組みの強化、情報化へ
の取り組みの強化等に取り組む必要がある。

以上を著実に実行していくには、中央会自身の意識改
革、指導業務の効率化、連絡体制の強化、指導員の資質の
向上、情報化の推進などに積極的に取り組まなければなら
ない。

「平成十二年三月新規高等学校・中学校卒業求職者対象の採用枠確保」について、九月十日付で、文部省及び労働省より全国中小企業団体中央会を通じて岐阜県中小企業団体中央会にも、高等学校・中学校卒業の予定者に対する採用枠の確保を組合の傘下企業へも呼びかけるよう依頼があり、会員各位においても傘下の企業へ同趣旨の周知をお願いしたい。

平成十二年の中・高校生の 雇用の情勢について

平成十二年三月新規高等学校・中学校卒業求職者の雇用情勢は、労働省が七月未現在の求人・求職状況について次のような結果となった。

求人数の減少幅が求職者数の減少幅を大きく上回った結果求人倍率は前年同期を・三六ポイント下回る・六二倍となり就職希望の生徒の中で応募すら困難な者が生じる状況となっている。

また、来春中学校卒業予定者についても前年同期を・二二ポイント下回る・二九倍となり、選考開始日に向けて多くの求人の確保が不可欠となっている。

このような極めて厳しい求人環境となったことは、現時点で景気の先行きを見極めながら慎重な採用姿勢をとる企業がなお多いためとみており、今後供給制約が確実視される若年労働力

の確保及びその育成は社会全体としても、個々の企業の将来にとっても、両省は重要な課題と認識している。

教育、職安機関での 就職支援活動

今後、教育機関や公共職業安定機関では、新規高等学校・中学校卒業求職者に対し次のような就職支援活動を行っていく。

一、高校新卒者の係る就職支援

特別相談窓口

全国の公共職業安定所の高卒相談窓口を利用者にわかりやすく表示し、生徒、担当教員、保護者を対象として、個別職業相談に応じること。

求人確保

教育委員会及び私立学校主管部局と職業安定主管部局が連携して、経済団体に対し高校新

いる求人開拓推進員を積極的に活用し、事業主訪問等の機会に高卒求人の申込みを勧奨すること。

就職問題連絡会 議の開催

整の上、職業相談の実施、就職面接会の開催などによる就職機会の確保などに努めること。

公共職業安定所 間との連携

最近状況を把握し、公共職業安定機関と教育機関との連携を深める契機とするともに、産業界の代表に対する一層の求人要請を行うこと。

採用選考 機会の拡大

採用選考の拡大

採用選考の対象が高学歴化していることに鑑み、就職問題連絡会議等を活用して、昨年に比べて高卒求人の減少が著しい業種、就職を希望する生徒が多い業種の事業主団体に対し、高卒新卒者について大学等新卒者と同様の選考機会を与えることなどを要請すること。

九月十六日以降の学校を通じて応募の結果、内定を得られない生徒については、学校と公共職業安定所が連携し、日程調

二、中学新規学卒者に対する就職支援

一、に準じて求人確保を図るとともに、公共職業安定所や学校による職業相談・職業指導

求人情報については、公共職業安定所において適宜充足状況を確認し、学校へ送付するあるいは公共職業安定所に常備するなどにより、未充足求人の情報を迅速に提供できるように努めること。なお、他都道府県の職業安定機関との連携を図り、県外就職希望者に対して必要な情報を迅速に収集、提供するとともに、他都道府県からの情報提供依頼にも適切に応えらるよう配慮すること。

を通じて、生徒、担任、保護者に就職希望内容等を確認し、個別求人開拓に努める。

海外駐在員レポート

岐阜県パリ駐在員 宮 早苗

高架下のギャラリー

景観と調和

パリの12区にあるギャラリーで行われた、学生による作品展に出かけてきた。フランス国内の有名なデザイン学校6校の生徒達の作品から選ばれた十数点の家具やインテリア、そしてそのデザイン画が展示されており、現代的な形、鮮やかな色使いなど、作品数は多くないものの、見ていて楽しかった。

ここへ出かけたのは、展示会自体への興味もさることながら、このギャラリーのある場所に一度行ってみたいと思っていたからでもある。展示会の主催者はVIA(家具・室内装飾改革推進組織)というのだが、この団体は、かつての高架鉄道の跡を利用した「芸術の陸橋」にギャラリーを持っているのだ。

芸術の陸橋とは、パリの中央部と郊外とを結んでいた鉄道路線の廃止後、残された高架橋を活用して作られた建物で、アトリエやブティックを設けて、主として芸家達に提供された場所である。話には聞いていたが、実際に出かけてみると、周囲の景観と調和したとても美しいところだった。街路樹の続く道と並行して、真っ直ぐに伸びる煉瓦造りの橋。それを支えている橋脚と橋脚の間のアーチ下の一つ一つが、今は家具、インテリア、絵画等のアトリエになっており、いずれも道路沿いは全面ガラス張りなので、中の様子がよく見える。各スペースのドアやガラスの枠がすべて木製で、これらのデザインがどのスペースでも統一されているのも落ち着いた雰囲気を出している。途中で設けられているカフェも、このムードを尊重してシックな木製の椅子が並べられており、つい、座り込んであたりを眺めながらのんびりとお茶を飲みたくなる、そんな空間だ。

達人が集まる地域

このあたりは、中世の昔から木工家具工場や家具職人、室内装飾品の達人達が集まっていた地域だが、その伝統を生かして、不要になったはずの高架橋を見事に再生させたわけだ。もちろん、VIAがここにギャラリーを持っているのも、ここがもともと家具の町であるからだろう。

かつては鉄道が敷かれていたわけで、なにしろ天井が高い。10メートルもの高さまでガラス張りになった各スペースの正面は、とても開放的な印象を与えるし、内部にしる、これだけの高さがあれば、どんな作品の展示にも都合が良いだろう。内部に中二階を設けてそちらを事務スペースにしたアトリエも多い。この内部は内部で、レンガや石で作られた壁をそのまま生かしているのが、アトリエの雰囲気作りに貢献している。

また、この陸橋のすぐそばには、オペラ・バステューと呼ばれる巨大なオペラ劇場がある。1989年にオー

ブンしたこの建物自体は、非常に現代的なデザインなのだが、「芸術の陸橋」の各アトリエには、オペラ座で上演される作品のポスターが貼られたり、舞台衣裳や小道具と思われるものが片隅に展示してあったりして、オペラの町としての地域の盛り上げにも一躍かっているようだ。

空間利用の成功例

一方、かつて線路のあった高架の上は、全長4.5キロの緑いっぱいの遊歩道になっていて、とても町の中とは思えないような静かな空間を作り上げている。花々を眺めながら散歩をしている人を何人も見た。途中三ヶ所に階段があってそこからこの遊歩道に上がれるのだが、現在、エレベーターを設けるための工事も進められている。

こちらも、とてもくつろげる良いところなのだが、残念ながら高架下のアトリエとは、全く切り離された場所になってしまっている。階段が少ないので一度上がってしまうとなかなか下には降りられず、また元々の構造から当然とはいえ、下の様子を窺うことが全くできないからだ。緑の中を散歩しながら、時々下の様子を覗き見し、面白そうだな、と思ったところで降りて行けるようになっていけば...というのは、ちょっと欲張りすぎだろうか。しかし、この「芸術の陸橋」が空間造りの素晴らしい成功例の一つであることは間違いない。



高架鉄道の跡を利用したギャラリーとカフェ

中部日本家具メーカーショー



木・人・技のフェスティバル



'99秋の美濃焼新作展



最優秀の中小企業庁長官賞



のものが目立った。

主な入賞作品は次のとおり。

中小企業庁長官賞(株)深山「JOUR(ジュール)」通商産業省生活産業局長賞「ヤマ忠木製陶所(資)」「軌跡シリーズ」中部通商産業局長賞「峰窯」「青磁・酒肴小々村」岐阜県知事賞(有)森川「ヒスイホームパーティーセット」同(有)西尾製陶所「雲海・ホームセット」岐阜県中小企業団体中央会長賞「丸藤工藤製陶所「ホームセット」」など。

特色ある美濃の家具

県家具工業組合の13社

岐阜県、愛知県、福井県、長野県の各工業組合が合同で主催する『第18回中部日本家具メーカーショー』が十月六日から二日間、名古屋市吹上ホールで開催された。

需要が見込まれる秋から春に先駆けて行われ、岐阜県家具工業組合(野田豪一理事長)からは組合員企業十三社が新作家具を展示。多様化するニーズに対応するため、日常生活で使用するテーブルセットや棚をはじめ、寝室家具や高級婚礼家具等、各

社とそれぞれの特色を打ち出した商品を揃えている。

飛驒の家具二千点を展示

木・人・技のフェスティバル

協同組合飛驒木工連合会関連理事長が主催した、木・人・技のフェスティバルが九月十一日から二日間、高山市の飛驒体育館で開催された。同フェスティバルは、飛驒の家具職人が匠の技と精神を伝えると共に、新作家具を地元消費者や観光客へPRする目的で開催され、今年で五回目

また、同組合のブースの中央に設置された洒落たテラスからは十三社の出品家具を見まわすことができ、そこでは訪れた小売業者らと熱心に商談が行われていた。

を数える。今回は組合員ら十九社、飛驒工芸学園、高山工業高校などが約二千点の家具を出展した。会場には木の素材を活かし、直線や曲線を巧みに取り入れた匠の技が光る椅子、テーブルソファをはじめ、バリエーションに富んだ家具なども展示され、好評であった。

美濃焼の新作

一二四二点が展示

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(宮地吾郎理事長)が主催した『99秋の美濃焼新作展』が十月六日から三日間、セラトピア土岐で開催。また、同時開催として『ニューセラミックフェア'99』も開催された。

新作展には、同連合会の所属員のうち約百社が二百四十三点の美濃焼の新作を出展。出展作品の多くは食器が中心で、茶系統、白系統、薄い色合いの物が多く、形もシンプルなデザイン

ハイウェイは

カード時代

協同組合 岐阜県高速道路利用センター
〒500-8227 岐阜市北一色1丁目20番11号
佐藤商店ビル2F
TEL(058)247-2818・(058)246-5981

各種イベントで交流

青中創立25周年記念事業

岐阜県中小企業青年中央会(坂田 彰会長)の創立25周年記念事業が、九月十五日に各務原市の金属団地体育館で開催された。

青年中央会は、昭和四十九年に設立され、現在では青年部七十一会員、約二千企業をもって構成する組織に成長した。今回、創立25周年を迎えるにあたり、青年中央会の組織活性化と会員青年部の一層の連携強化を図るため、記念式典及び記念事業を開催した。



青中創立25周年記念事業

当日は、あいにくの雨にもかかわらず家族連れ等約四百五十人が訪れ、十七組合の青年部が各ブースに出店し、金魚すくいや輪投げ、射的ゲームなど様々なイベントを企画・運営し、青

第22回たじみ茶碗まつり 多治見美濃焼センター協

多治見美濃焼センター協同組合(加藤吉幸理事長)が主催する『第22回たじみ茶碗まつり』が十月十日から二日間、同セン



第22回たじみ茶碗まつり

年部員との交流を楽しんでいた。また、牛肉の丸焼き機の実演による飛騨牛のロースヒーフや、鮎雑炊等がふるまわれ、会場は終始賑やかな雰囲気包まれていた。

ターで開催された。まつりは、同組合の組合員三十二社と多治見陶磁器卸商業協同組合から十八社が協賛出店し、



共立グリーンセミナー

約八十小間のテントがセンター内のメイン通りに並んだ。また、センター内の十四社が自社の倉庫を開放し、蔵出し市が行われ、県内外から多くの買い物客が訪れ、市価より値打ちな陶器を購入していた。

昨年から行っている陶器下取り・リサイクルコーナーでは、家庭で使いふるし、不要となった陶器を1kg当たり百円の金券(茶碗まつりのみ利用可)と交換できる陶器下取り・リサイクルコーナーを設置し、来場者が使い古した陶器を次々と持ち込み、人気を博していた。

日本経済の再生への針路

共立グリーンセミナー開催

大垣共立銀行と共立総合研究所が主催した「共立グリーンセミナー」が九月十六日、岐阜グランドホテルで開催され、日本総合研究所の若月三喜雄理事長が「日本経済の再生への針路」をテーマに講演。

講演で、若月理事長は「冷戦終了後の世界経済が新しい時代に入ったことを日本経済は軽視しすぎ、先送り主義の限界がき

た」と現状を説明し、再生への期待材料として「金融界の再編による産業界の再生、海外からの投資の増大による雇用の維持や新しい経営体質の醸成、情報革命としてのIT産業によるインターネット・ビジネスへの移行が日本経済の再生への針路と

高山米穀協業組合

理事長 桑谷 信男

高山市初田町2丁目32番地
☎ 0577 32-3100 〒506-0008
FAX 0577 34-8404

景況感、底固め

季節要因で大幅改善予想

8月景況調査

休業による稼働日数の減等のマイナス要因がともに存在したが、その動き幅は小さく、景況動向への影響はさほどない。

中央会が主要業種八十五組合を対象にまとめた「八月の特色」と「十一月までの景況の見通し」は次のとおり。
 「八月の特色」組合から見た県内中小企業の特徴は、景況感の改善は一服サービス業が好転、夏季商品が低調で終わる となっている。
 八月の景況感DI値は、前月に比べ2ポイント後退のマイナス25ポイントとなっている。しかし、後退はしたものの、景況は底固めの動向といえる。例年どおり、観光需要増等のプラス要因と夏期

当月は、半年程続いた住宅建築関係の好調に一部陰りが見え、国の追加施策を望む声もある。サービス業では業況回復業種が増えているが、その他は、商店街を中心とした流通関係業種の不振等、大半の業種が停滞している。
 「十一月までの見通し」十一月までの景況動向予想は、DI値マイナス13ポイントで、当月実績に対し12ポイント改善といつかかなり大幅な改善予想。また、下降が続いていた機械・金属はDI値±0を予想しており、下降に歯止めがかかりそうな気配である。

県内中小企業主要業種の景気動向 (9月調査、8月実績)

表の見方：売上～景況感：好転・増加 変わらず 悪化・減少

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
味噌・醤油・豆腐製肉(国産)食菓米酒米	油					
	子					
	菓					
	米					
	酒					
ね織物染織二毛合靴メ	ね					
	織					
	物					
	染					
	織					
製銘集家家東家特紙印	製					
	銘					
	集					
	家					
	東					

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
プラスチック						
陶磁器(工業)						
陶磁器(輸出)						
モザイクタイル						
窯業原料						
耐火レンガ						
石生コ						
砂利生産						
砕石生産						
鑄物						
刃物等金属製品(輸出)						
刃物等金属製品(内需)						
メッキ						
機械金属型						
機械工具・工作機械						
電気機械器具						
輸送機器						
各種物産品(観光)						
各種物産品(ギフト)						
陶磁器						
総合卸売業						
青水産物						
家電機器販売						
メガネ販売						
中古自動車販売						

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	景況感	見通し
石油製品販売						
共同店舗						
岐阜市商店街						
大垣市商店街						
多治見市商店街						
恵那市商店街						
高山市商店街						
車体整備						
タイヤ整備						
長良川畔旅館						
下呂温泉旅館						
高山旅館						
クリニン						
広告美術						
情報サービス						
映像制作						
飲食業						
土木(岐阜)						
土木(飛騨)						
木造建築						
鋼構造						
電気工事						
管設備工事						
建築板金						
産直住宅						
貨物運送(岐阜地区)						
貨物運送(県域)						



管理調整チーム
組織指導チーム
広報振興チーム
情報企画チーム
調査労働チーム
東濃支所、飛騨支所

異業種交流フォーラムの開催

岐阜県中小企業振興公社ほか三団体が主催する「異業種交流フォーラム99ぎふ」が十一月十六日、岐阜ルネッサンスホテルで開催されます。
内容は、第一部が講演とパネルディスカッション、第二部は

交流懇談会、第三部は商品展示・発表会が開催されます。
参加は、第一部と第三部は無料、第二部の交流懇談会は有料。申し込みは、岐阜県中小企業振興公社(電話 五八・二七七・一九三)まで。

中小企業のパワーアップセミナー

(株)VRテクノセンターなどが主催する『中小企業のパワーアップセミナー』が十月二十六日、各務原市のテクノプラ

ザで開催されます。
参加は無料。詳しくは、VRテクノセンター(電話〇五八三・七九・二二八〇)まで。

外国人研修・技能実習生の正しい受入

キャンペーン説明会のご案内

財団法人入管協会が主催の「外国人研修・技能実習生の正しい受入キャンペーン説明会」が十一月十日、サンレイラ岐阜・三階大ホールで開催されます。
説明会は、平成十一年二月法務省入国管理局が公表した「研修生・技能実習生の入国在留管

理に関する指針」の概要、研修生・技能実習生の受け入れのための説明を行います。また、会場には外国人の入管手続などに関する問題についての相談コーナーも設けられます。
参加申し込みは(財入管協会電話 三・三三九一・八八)まで。

物流シンポジウム開催のご案内

岐阜県基盤整備部が主催の『物流シンポジウム』が十一月三十日、岐阜商工会議所・二階大ホールで開催されます。
シンポジウムは、調達物流から生産物流、販売物流、静脈物流にわたって「物の流れ」を統合化し、最適化を目指す「ロジスティクス」の追求が加速している中、導入が不可欠となっている情報技術に注目し、変革期に対応しうる社会と調和した効

率的な物流を目指すことを目的としていきます。
内容は、「IT(情報技術)の動向と物流」をテーマに、(株)NEC総合研究所の沼田康明氏

中小企業高度化資金借入希望調査

岐阜県の経営指導課資金融資係が平成十三年度中小企業高度化資金借入希望調査を行っております。借入希望者(組合等)は十月二十五日までに最寄りの県事

を招き基調講演、「物流効率化を推進する情報化」をテーマにパネルディスカッションを開催します。参加は無料、申し込み等は岐阜県基盤整備部交通物流室(電話 五八・二七二・一一・内線三六三)まで。

(九月中)

- 1日 岐阜財務事務所・大蔵省 地域経済調査県民ふれあい 会館)
- 3日 全国中央会・実務担当者 会議(東京)
- 組合管理者等講習会・経営革新支援法(サンピア岐阜)
- 6日 組合管理者等講習会・経営革新支援法(東濃西部総合庁舎)
- 7日 組合管理者等講習会・経営革新支援法(飛騨総合庁舎)
- 7日~9日 情報化担当者指導員(全国研修会(東京))
- 8日 商工中金黒沼専務理事来会(中央会)

中部通商産業局松島新局長 来会(中央会)

- 9日 岐阜県環境づくり県民会議推進会議(未来会館)
- 15日 青年中央会・創立25周年 記念式典(金属団地)



- 20日 岐阜県障害者雇用促進大会(グランヴェール岐阜)
- 小規模企業共済制度の改正に係る都道府県別説明会(可茂県事務所)
- 中小企業マルチメディア支援調査研究事業第1回委員会

(東京)

- 21日 在名古屋外国公館との交流会(セラトピア土岐)
- 組織化指導中央研究会・労働力確保組合集中指導事業(東京)
- 22日 都道府県中央会・事務局代表者会議(東京)
- 27日 組合運営問題懇談会(県民ふれあい会館)
- 28日 東海北陸ブロック中央会会長会議(石川県)
- 岐阜地域留学生交流推進協議会・運営委員会(岐阜大学)
- 29日~30日 都道府県中央会指導員等講習会(東京)